

地籍問題研究会 第40回定例研究会

令和7年3月15日

トークセッション

地籍問題研究会の回顧と日本地籍学会への期待

話題提供 清水 英範

1. 研究会に参加した経緯
2. 地籍に対する思い
3. 研究会での活動
4. 学会への期待

1

1. 研究会に参加した経緯 ①

■ 2000(H12)年 第2回国際地籍シンポジウム(東京)

- 第1分科会「地籍に関する調査・測量」
コーディネータ 清水 英範
- メインシンポジウム「21世紀の「地籍」を考える」
コーディネータ 鎌田 薫
パネリスト 清水 英範、山野目 章夫 ほか

■ 2006(H18)年 第5回国際地籍シンポジウム(京都)

- 第1分科会「平成検地～日本の挑戦」
コーディネータ 清水 英範
- メインシンポジウム「世界と語ろう 地籍・地図・境界のあした」
コーディネータ 鎌田 薫
パネリスト 清水 英範、松岡 直武、村田 博史 ほか

(敬称・役職略)

2

1. 研究会に参加した経緯 ②

国土審議会(土地政策分科会企画部会)の委員会で

国土調査事業十箇年計画の第6次計画(2010(H22)一)、
第7次計画(2020(R2)一) 策定に向けた議論に参加

■ 2007(H19)年 地籍調査促進検討小委員会

委員長 清水 英範

委員 山野目 章夫、山脇 優子 ほか

■ 2009(H21)年～2023(R5)

国土調査のあり方に関する検討小委員会

委員長 清水 英範

委員(初期) 藤原 勇喜、山野目 章夫、山脇 優子 ほか

(敬称・役職略)

3

地籍問題研究会 設立報告会: 2010(H22)年10月3日

土地家屋調査士制度制定60周年・表示登記制度創設50年
地籍シンポジウム2010 / 土地家屋調査士全国大会 in Tokyo

第1部 開会式 (開会宣言: 大星 正嗣 実行委員長)

松岡 直武 会長 挨拶、柳田 稔 法務大臣 挨拶 ほか

第2部 地籍シンポジウム

● 特別講演 鎌田 薫 「地籍と法制度」

● パネルディスカッション「地籍 その可能性を考える」

コーディネータ 山野目 章夫

パネリスト 鮫島 信行、清水 英範、瀬口 潤二、
林 亜夫、村田 博史、山脇 優子 (敬称・役職略)

第3部 地籍問題研究会 設立報告会

4

2003～2019 東京大学 工学部 社会基盤学科「土地学」
 2003～2014 東京都市大学 環境情報学部「土地問題と土地政策」
 2020～ 日本大学 理工学研究科 まちづくり工学専攻「土地政策」

1. 土地と土地市場の特性
2. 土地政策の法的基礎
3. 土地政策の経済学的基礎
4. 土地問題と土地政策－各論
 - 不動産登記 ■ 地籍調査
 - 定期借地権 ■ 不動産証券化
 - 土地税制 ■ 地価と土地評価 等
5. 土地政策の課題と展望

7

3. 研究会での活動

● 研究会 幹事・監事等（敬称略、名簿順、役職等は就任当時のもの）

2010(H22)年10月3日～	
代表幹事	鎌田 薫（早稲田大学大学院法務研究科教授）
副代表幹事	清水 英範（東京大学大学院工学系研究科教授）、鎌野 邦樹（早稲田大学大学院法務研究科教授）
幹 事	小笠原希悦（社団法人全国国土調査協会常任理事）、川口有一郎（早稲田大学大学院ファイナンス研究科教授）、坂本 勇（元吉備国際大学教授、JICA 専門家）、阪本 一郎（明海大学不動産学部教授）、鮫島 信行（社団法人農業土木事業協会専務理事）、清水 湛（弁護士、元法務省民事局長、元広島高等裁判所長官）、藤井 俊二（創価大学大学院法務研究科教授）、松岡 直武（日本土地家屋調査士会連合会会長）、村田 博史（京都産業大学大学院法務研究科 教授）、安本 典夫（名城大学法学部教授）
監 事	林 亜夫（明海大学不動産学部教授）、松尾 英夫（桐蔭横浜大学法学部・法科大学院客員教授、元横浜地方法務局長、元公証人）
2013(H25)年3月9日～	
代表幹事	清水 英範（東京大学大学院工学系研究科教授）
副代表幹事（兼事務局長）	鎌野 邦樹（早稲田大学大学院法務研究科教授）
副代表幹事	村田 博史（京都産業大学大学院法務研究科教授）
幹 事	鮫島 信行（鹿島建設顧問）、清水 湛（弁護士）、藤井 俊二（創価大学大学院法務研究科教授）、安本 典夫（大阪学院大学法学部教授）、小笠原希悦（社団法人全国国土調査協会常任理事）、阪本 一郎（明海大学不動産学部教授）、川口有一郎（早稲田大学大学院ファイナンス研究科教授）、小柳春一郎（独協大学法学部法律学科教授）、藤原 勇喜（元仙台法務局長・藤原民事法研究所代表）、大星 正嗣（日本土地家屋調査士会連合会相談役）、國吉 正和（東京土地家屋調査士会会長）、宮嶋 泰（日本土地家屋調査士会連合会副会長）
監 事	林 亜夫（明海大学不動産学部教授）、松尾 英夫（桐蔭横浜大学法学部・法科大学院客員教授、元横浜地方法務局長、元公証人）

出典）土地家屋調査士白書2022,日本土地家屋調査士会連合会

8

● 研究会 幹事・監事等（敬称略、名簿順、役職等は就任当時のもの）

（つづき）

2015(H27)年3月14日～

代表幹事	清水 英範（東京大学）
副代表幹事	小柳春一郎（獨協大学）、鮫島 信行（鹿島建設顧問）
幹 事	大場 浩之（早稲田大学）、大星 正嗣（土地家屋調査士）、岡田 康夫（東北学院大学）、小野 伸秋（土地家屋調査士）、小笠原希悦（全国国土調査協会）、鎌野 邦樹（早稲田大学）、川口有一郎（早稲田大学）、草鹿 晋一（京都産業大学）、國吉 正和（土地家屋調査士）、齋藤 広子（横浜市立大学）、阪本 一郎（明海大学）、清水 湛（弁護士）、藤井 俊二（創価大学）、岡田潤一郎（日本土地家屋調査士会連合会副会長（研究所担当））、安本 典夫（大阪学院大学）、吉原 祥子（東京財団）
監 事	林 亜夫（明海大学名誉教授）、藤原 勇喜（藤原民事法研究所）
顧 問	鎌田 薫（早稲田大学）

2017(H29)年3月18日～

代表幹事	小柳春一郎（獨協大学）
副代表幹事	鮫島 信行（鹿島建設顧問）、岡田 康夫（東北学院大学）
幹 事	大場 浩之（早稲田大学）、大星 正嗣（土地家屋調査士）、小野 伸秋（土地家屋調査士）、鎌野 邦樹（早稲田大学）、川口有一郎（早稲田大学）、草鹿 晋一（京都産業大学）、國吉 正和（土地家屋調査士）、齋藤 広子（横浜市立大学）、清水 湛（弁護士）、清水 英範（東京大学）、周藤 利一（明海大学）、戸倉 茂雄（日本土地家屋調査士会連合会副会長（研究所担当））、外山 春男（全国国土調査協会）、藤井 俊二（創価大学）、矢田 尚子（日本大学）、山田 明弘（土地家屋調査士）、吉原 祥子（東京財団）
監 事	林 亜夫（明海大学名誉教授）、藤原 勇喜（藤原民事法研究所）
顧 問	鎌田 薫（早稲田大学）

⋮

9

● 定例研究会等の活動（清水：副代表幹事、代表幹事時代）

2010年10月3日(日) 設立宣言（東京・日比谷公会堂）

2011年7月31日(日) 第1回定例研究会（東京・日経カンファレンスルーム）

2011年12月10日(土) 第2回定例研究会（東京・早稲田大学15号館102号教室）
テーマ：東日本大震災の復興における地域再生と土地問題 ～地籍の視点から～

2012年3月17日(土) 平成24年度通常総会及び第3回定例研究会（東京・東京大学農学部弥生講堂一条ホール）
テーマ：森林の適正な利用管理と境界問題

2012年7月28日(土) 第4回定例研究会（京都・京都産業大学壬生校地むすびわざ館ホール）
テーマ：地籍およびその周辺問題

2012年10月19日(金) 第5回定例研究会（北海道・札幌グランドホテル、第8回国際地籍シンポジウムと共催）
メインテーマ：災害からの復興

2013年3月9日(土) 平成25年度通常総会及び第6回定例研究会（千葉・明海大学浦安キャンパス講義棟2206教室）
テーマ：地籍と教育

2013年9月15日(日) 第7回定例研究会（東京・創価大学本部棟M205教室）
テーマ：地籍及びその周辺問題

2013年11月2日(土) 第8回定例研究会（神奈川・桐蔭横浜大学中央棟C307号大講義室）
テーマ：地籍図および登記所備付け地図をめぐる諸問題

2014年3月8日(土) 平成26年度通常総会及び第9回定例研究会（大阪学院大学2号館B1-01教室）
テーマ：地域の空間情報と地籍情報

出典）土地家屋調査士白書2022,日本土地家屋調査士会連合会

10

● 定例研究会等の活動（清水：副代表幹事、代表幹事時代）

（つづき）

2014年7月19日（土） 第10回定例研究会（獨協大学 天野貞祐記念館 A207 教室）

テーマ：地籍及びその周辺問題

2014年12月13日（土） 第11回定例研究会（じゅうろくプラザ 5階大会議室）

テーマ：地理空間情報の共有化と新たな地籍調査制度

2015年3月14日（土） 平成27年度通常総会及び第12回定例研究会（中央工学校 21号館 STEP ホール（東京都・北区））

テーマ：地籍調査の現地における実態と課題

2015年7月25日（土） 第13回定例研究会（明海大学浦安キャンパス 講義棟 2201 教室（千葉県・浦安市））

テーマ：人口減少高齢社会と土地境界管理

2015年11月28日（土） 第14回定例研究会（日司連ホール）

テーマ：民法（債権法）改正と不動産取引

2016年3月19日（土） 平成28年度通常総会及び第15回定例研究会（宮城・東北学院大学土樋キャンパス 8号館 5階押川記念ホール）

テーマ：東日本大震災により生じた地籍情報の課題～震災5年を迎えて～

2016年7月16日（土） 第16回定例研究会（石川県・金沢大学角間キャンパス総合教育講義棟（N4）B1 講義室）

テーマ：日本の空き家空き地問題を考える

2016年11月23日（土） 第17回定例研究会（東京都・明治大学駿河台キャンパスリパティタワー 3階 1031 教室）

テーマ：公園の源流をさぐる

2017年3月18日（土） 平成29年度通常総会及び第18回定例研究会（東京都・機械振興会館地下2階ホール）

テーマ：官民境界の明確化による都市基盤の強化

2017年3月18日付け 空き家空き地問題に関する分科会により、小冊子『日本の空き家空き地問題を考える—研究者・実務家・行政による多角的検討』（地籍問題研究会）を発行。

11

4. 学会への期待

今後の学会運営のご参考まで

- ① 学会とは何かの定義はないが、
それぞれ何がしかのイメージを持っている。



学会とは何か（私のイメージ）

- ② 学会とは何かの定義はないが、
日本学術会議 協力学術研究団体 ≡ **学会**
と思っている人が（特に理工系では）結構多い。



日本学術会議 協力学術研究団体
に指定されるための主な要件

12

学会とは何か(私のイメージ)

学会とは、学会名に冠せられた特定の学術分野の発展・振興を目的に、主に会員をサービスの対象にして、おおよそ次のような活動を行っている団体である。

- ① 学術分野の動向など、会員が関心を持つ情報を紹介する**機関誌(学会誌)の定期的発行**
- ② **査読付きの研究論文**を掲載する**論文誌の定期的発行**
(小規模学会では、機関誌に論文を掲載する場合も多い)
- ③ 研究の成果や途中経過についての発表や議論、意見交換や交流等を目的とした**学術講演会の定期的開催** (学術講演会は 研究集会や、単に学会という場合も)

13

学会とは何か(私のイメージ)

さらに、活発な学会であれば、次のような活動も(そのすべてではないにせよ) 行っていると私は理解している。

- ④ 講習会や研究セミナー、シンポジウム等の開催
- ⑤ 会員有志による自主的共同研究の実施
- ⑥ 学術分野の解説書、教科書、専門書等の編纂、出版
- ⑦ 学術分野に関連する資格制度の運営
- ⑧ 関係団体と連携したCPD(継続教育)制度の運営
- ⑨ 優れた研究や学会(学界)等への貢献に対する表彰
- ⑩ 海外の学会との連携等による国際的活動
- ⑪ 会員の交流、親睦のためのイベントの開催 ...

14

日本学術会議 協力学術研究団体に指定されるための主な要件

1. 学術研究の向上発達を主たる目的として、その達成のための学術研究活動を行っていること
2. 活動が**研究者**自身の運営により行われていること
3. 構成員（個人会員）が100人以上であり、かつ**研究者**の割合が半数以上であること
4. 学術研究（論文等）を掲載する機関誌を年1回継続して発行（電子発行を含む。）していること

出典）協力学術研究団体の要件について、日本学術会議 <https://www.scj.go.jp/ja/group/dantai/index.html>

15

日本学術会議における「研究者」の定義

研究者とは、人文・社会科学から自然科学までを包含するすべての学術分野において、**新たな知識を生み出す活動**、あるいは**科学的な知識の利活用**に従事する者をいう。

出典）市瀬龍太郎：学会の科学における役割，人工知能学会誌 Vol.26, No.6, 2011.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjsai/26/6/26_591/_pdf

出典）科学者委員会（第22期・第34回）議事要旨，日本学術会議
<https://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/kagaku/22/yousi34.pdf>

参考）「科学者」の定義も、上記「研究者」の定義とほぼ同様。

出典）声明「科学者の行動規範－改訂版－」，日本学術会議
<https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-22-s168-1.pdf>

16

日本学術会議が公開する 学会名鑑

<https://gakkai.scj.go.jp/>

学会名鑑

2,100以上の協力学術研究団体の情報を掲載

キーワードで探す

※お探しの学会のキーワードをご入力下さい。
(団体名、略称の一部分でも検索可能です。)

50音別で探す

※お探しの学会の頭文字をご選択下さい。

あ	い	う	え	お	は	ひ	ふ	へ	ほ
か	き	く	け	こ	ま	み	む	め	も
さ	し	す	せ	そ	や		ゆ		よ
た	ち	つ	て	と	ら	り	る	れ	ろ
な	に	ぬ	ね	の	わ	日本	ABC..		

分野別で探す

※お探しの学会の分野をご選択下さい。

- 人文・社会科学
- 生命科学
- 理学・工学

[地籍](#) [登記](#) [土地](#) [家屋](#) → なし [地図](#) → 日本地図学会
[不動産](#) → 日本不動産学会 [調査](#) → 海洋調査技術協会
[測量](#) → 日本測量協会、日本写真測量学会

17

学会名鑑に掲載される主な情報

例) 日本測量協会 (2011(H23)協力学術研究団体に指定)

欧文名 Japan Association of Surveyors

ホームページ <https://www.jsurvey.jp/>

学術研究領域 土木工学・建築学

設立趣旨 測量及び地理空間情報の分野に関する調査研究を行い、並びにその普及発達を図り、併せて会員相互の親和と社会的地位の向上を期し、もって国土の利用、整備又は保全に寄与することを目的とする。

沿革 1951 設立、1952 社団法人、2011 公益社団法人

会員数 正会員 10,787人、準会員 361人、特別会員 2,269団体

刊行物 雑誌「測量」(刊行頻度:毎月、発行部数:15,000) ▶

18